

俳句を始めたい、俳句初心者の方へのメッセージです

俳句小冊子

言葉は魔法

二〇二一年

二月号（第七号）

俳句小冊子『言葉は魔法』

俳句会員募集中

俳句は、5・7・5 の17文字を使って、“あなたの思いをあなたの言葉で” 伝えることができる表現ツールです。俳句は、教科書に載っていた・・・誰もが一度は目にしたことのある俳句。難しそうとか、よく分からないと思ってしまいませんか。あなたの感じたこと、見つけたこと、その思いを素直に自分の言葉で書き留める、そんな気持ちで文字にできたら素敵ですよ。自分の思いが表現できる“言葉は魔法”です。

あなたの思いや発見を俳句で表現してみませんか。
これから一緒に俳句をやってみませんか。

俳句小冊子『言葉は魔法』俳句会員を募集しています。

俳句小冊子『言葉は魔法』

2021年2月号（第7号）目次

◆俳句ノート	—————	1
村松小智子	24句	2
鈴木直子	3句	5
◆俳句を作りましょう	—————	6
俳句の二つの約束	—————	7
俳句を作りましょう	—————	8
◆添削・句評	—————	11
直子	—————	12
時代にそぐわない季語	—————	13
「七五三祝ひ」について	—————	14
◆天野健太郎句文集『風景と自由』	—————	16
句文集紹介文	—————	17
◆健太郎memories その7	—————	18
◆俳句を送りましょう 投句方法	—————	32
編集部より	—————	32
投句用紙（5句用）	—————	33
投句用紙（10句用）	—————	34
◆無料お試し添削投句用紙	—————	35

俳句ノート

俳句会員の入選句です。

あなたの好きな句、意味が分からない句など、
自分で、◎、○、?等を付けて読んでいくのも楽しいですよ。

村松小智子 俳句ノート

紅葉の赤は変わらず
渡月橋

紅葉の赤は負けずや
三河路も

柿のなる里山ルート
23

背の高さそろって
段々柿畑

友案内三河の秋を
再確認

筆柿の三個ポッケ
におすそ分け

バイパスは三河の秋を
走り抜け

和モダンの着物でガイド秋うらら

和モダンの親善大使秋のカフェ

和モダンの着物美人や背に紅葉

秋刀魚三尾三人家族この秋は

十一月いまだ夏日や秋刀魚焼く

秋刀魚焼く考えごとは後にして

バックミラー紅葉大樹切り取って

恐竜の夕焼け雲が口開けて

ビル谷間夕焼け見える角度あり

母は明日九十一歳秋うらら

大輪の秋虹明日母の誕生日

秋うらら母は九十一歳になりました

母主役「もみじ」に響くカستاネット

母歌う「もみじ」に合わせしハーモニカ

くり返す「もみじ」は母の好きな歌

富士山も歌えると母秋うらら

また一つ気づきし感謝小菊咲く

(二十四句)

鈴木直子俳句ノート

甘栗を剥むいてあげれば食むべる子も

焼き立ての鯛焼を待つ十五分

できたての鯛焼の腹やはらかく

(三句)

俳句を作りましょう

◆難しい漢字や、旧仮名使いなど無理に使わない。

「躑躅」は「つつじ」「ツツジ」と書く時代に私達は生きています。この時代の言葉を使う方が自然だと思います。

「含羞草」は「おじぎそう」「オジギソウ」「おじぎ草」。

但し「躑躅」「つつじ含羞草」「おじぎそう燕子花」「かきつばた蒲公英」等を否定する者ではありません。知識として知っておく必要はあります。

5文字・7文字・5文字と、指を折って文字数を数えながら作ってみましょう。テーブルの下に手をかくして指を折って数えるのも楽しいですよ。

俳句を作る時の二つの約束

季語

季節の言葉を入れる事

(無季俳句を否定するものではありません)

俳句は季語そのものをよく観察して、特徴を読み取り、五・七・五に読み込む。

あるいは、季語を舞台にして、人は、どう動くかを、注意深く見定める。

また、季語に、自分の気持ちを伝える。

と、きりが無いほどの広がり、心を豊かにしてくれます。

だから、一緒に俳句を作ってみましょうか。

五・七・五に読み込む

すらすらと読めるように

この俳句教室では、五・七・五の文字数が分かるように、まずひらがなで書いていきます。指を折りながら文字数を確認するのも有効で、楽しいですよ。

俳句を作りましょう

■まず季語を探しましょう

二月です。また雪の季節。凍る、凍つく、悴む、冷たい。山には残り雪、残雪。春を待つ、節分で豆を撒く。立春が過ぎて春といっても氷が返り、春寒、余寒。震えていても、梅、梅林、白梅、紅梅は咲き、暖かな季節はもうすぐです。焼芋でも食べて温まりましょうか。(暖かあたたかは季語・温まるあたたまるは季語ではない)

※補足・・・先月号のこの欄で、手袋の季語表示がありませんでした。

手袋 季語です。

■ 『手袋』で作りました

子供の手袋が濡れてしまったのでしょうか、母親が自分の手袋を渡しました。

は
は
お
や
の

お
お
き
な
て
び
く
ろ

よ
ろ
こ
び
こ

母親の大きな手袋喜び子

は
は
お
や
の

て
び
く
ろ
は
め
て

は
し
ゃ
べ
こ

母親の手袋はめて大はしゃぎ

■ 『凍てつく』で作りました

朝六時、まだ寒い、凍てつくような朝です。

□
□
□
□

い
て
つ
く
あ
さ
に

□
□
□
□
□

何をしに来たのか、そう朝刊を取りに来たんです。

し
ん
ぶ
ん
と
る

い
て
つ
く
あ
さ
に

□
□
□
□
□

外はどんな風景でしたか？まだ暗い？静か？

し
ん
ぶ
ん
と
る

い
て
つ
く
あ
さ
の

ま
だ
く
ら
く

新聞取る凍てつく朝のまだ暗く

添削・句評

添削の評価基準

- ◎・・・かなり良い句です。
- ・・・良い句です。
- ✓・・・俳句として成り立っています。
ここまですが俳句として完成です。

◆直子さんの句を見ていきましよう。

甘栗を剥いてあげれば食べる子も

✓・・・甘栗は形といい、色といい、おいしそうに見えないからね。

百均に手袋の列できており

・・・手袋をした人たちの列、なのか、

手袋を買う人たちの列、なかいずれにしても俳句の面白みは薄い。

焼き立ての鯛焼を待つ十五分

✓・・・待つ甲斐があるけど、十五分が限界かも。

鯛焼の餡あんとクリーム三対二

・・・

図書館の次は鯛焼日曜日

•
•
•

できたての鯛焼の腹やはらかく

✓・・・はい甘党です。熱くて柔らかくておいしそう。

鯛焼き・・・実は鯛焼きが季語だとは知らなかった。

焼芋や肉まんは冬の季語として納得できるんだけど。

バナナとパイナップルは夏の季語と聞いたことがあるけれど、バナナも鯛焼きも年中手に入るから季節感は薄れている。

鯛焼きを冬の季語とするなら、鯛焼きの上に焼きたてとか、出来たてという言葉が必要な気がするけれど。

バナナも、夏の雰囲気を出すべき。

今の時代に季節感を感じない季語は使わないほうがいいと思います。

昭和の時代の季語として残ってはいくしょうが。

時代にそぐわない季語

『七五三祝ひ』について

先月号の「直子さんの添削」欄の「七五三祝ひ」について、
言い訳から書きます。

2018年に亡くなった天野健太郎君の句集をまとめながら、俳句に夢中というか熱中していた若い頃の自分を思い出していました。この俳句小冊子『言葉は魔法』を発行するにあたり、自分が指導者としてやっていくかという不安がありました。不安より俳句を作りたいという人を育てたい、という気持ちが強くなりました。そして、その思いをこの小冊子の三十二頁の『言葉は魔法』編集部よりの欄に書きました。

俳句小冊子『言葉は魔法』を編集する私は、何の実績も知識も経験ありません。18歳から25歳までの俳句少年だった頃の夢が、空白の五十年が過ぎた今俳句に対する思いが、膨らんできました。ここにスマートフォンを手掛かりに、無謀と思いつつ発行します。

この小冊子で一緒に俳句を勉強できればと思っています。

直子さんに添削・句評欄に載せるという了解を貰って、俳句の決まり事や、初歩的な作り方を教えようと始めました。

六回目の先月号で、大きなショックをうけ、自分の無知に落ち込みました。直子さんからメールが届いたのです。

私の句、スニーカーすぐ履き替えて七五三祝ひ　　ですが、
下五は しめいわい　としてよみました。ので、本人的には字余り、
中、下^{またがり}跨りはしていません。
ただ、下五はすっきり　七五三　でもいいですね。

私は七五三祝ひを「しめいわい」と読むことを知りませんでした。初心者用に字余りと、熟語などを五と七に切って使わないほうがいいということを伝えたくて、「七五三祝ひ」に何の疑問ももちませんでした。しかも、作者は十年以上、俳誌『茅花』に投句し、主宰村松五灰子について学んできた人です。単純な字余りを知らないで使うわけがない、と気付き、調べるべきでした。

二十五歳で俳句をやめて以後、俳句などに関する知識、漢字等の勉強をしていません。だからなんだという話ですが、言い訳にもなりません。

十八歳から八年間の俳句の勉強は、村松一平師・岡田耿陽師・中村草田男師について誰にも負けないくらい集中しました。空白の五十年、俳句の知識は乏しいけれど、初心者向け俳句小冊子の発行を今まで通り、恥をかきながら続けます。負け惜しみですが、六頁に書いてある通り「難しい漢字」は無理に使うと知識をひけらかす様にも見られます。難読漢字が必要なら読みがなを付けましょうか。

スニーカーすぐ履き替えて七五三祝ひ

直子

天野健太郎句文集

『風景と自由』

天野健太郎句文集『風景と自由』は、
新泉社から十月十四日発売。
2200円（税込）
Amazon、あるいはお近くの書店でお求めく
ださい。



年末年始は、手をかけずに“美味しい”を叶える!



冬の食卓、

台湾文学翻訳者が
遺したのびやかな俳句。



『風景と自由 天野健太郎句文集』
天野健太郎
新泉社 2,000円

台湾の作家、呉明益の『歩道橋の羅刹郎』と『自転車泥棒』はマジカルでノスタルジックな素晴らしい作品だった。香港出身の陳清基（13・67）は華文ミステリーとして日本でも大衆話題になった。龍應台のノンフィクション『台湾海峡一九四九』と『父を見送る』はあの時代に中国から台湾へ渡った人たちの歴史を知る作品だった。どれも天野健太郎さんの訳。他に

もさまざまな訳書があり、昨今の日本のアジア文学ブームをけん引している人だと思っていたのに、2018年にすい臓がんで旅だつてしまった。享年47。
生前、韓国文学の翻訳者の斎藤真理子さんと対談してもらった時（対談は『ほんのよもやま話』に収録）、韻文も好きな方なのだなと思っていたが、ご自身でもこんなに俳句を作られていたとは、べ

ラングの景色やゴミ捨てなど日常的な光景の歌も多数出てきて親しみをおぼえ、（この種のへき地のどこか花を自る）や（十二日曜は柔らかな後雨をしない）という句にくぐつと胸を揺られ……。エッセイも収録され、改めて著者のやささと繊細さと優しさにどっぷり浸かった。もちろん、生前の天野さんを知らない人にも、その魅力がたっぷり伝わる一冊である。

知
した延世大事件、セウォル号事件、朴槿恵大統領の政権を退陣に追い込んだキンドル革命など、

で機嫌だ（私が無知だということもある）。斎藤真理子さんの訳者あとがきが大変勉強になった。

ファン:

天野健太郎句文集『風景と自由』
クワッサン2020年12月25日号に
天野健太郎句文集が紹介されています。

健太郎 memories

俳句と映画と本と食べ物そして・・・その7

この、目覚ましがなる直前に起きる癖はどうにかならないか。
そしておおむ概ねシャワーを浴びてるかトイレにいるときに鳴っている。
キュウリうまし

新暦の七夕って変と南国女

-----2011年07月07日(木)

日本茶なう
今日はええ風や。ホンマやったら散歩日和やねんけどな。

しらはえ
白南風や扇風機の羽根をひと廻し
こんだけ気持ちがいいと、何もする気にならんな。
冷や麦を作る気になるまでだらっとしよう。

白南風やランダでなにか鳴らしおり
ゆ
冷や麦茹で待ちなう

白南風やラジオをつけるも惜しくあり
白南風がシェード目がけて吹いていく
白南風や畳に貼り付く五体かな

また切れ字重ねちゃった。まあこまいこと気にしてもしゃあない。

白南風は曇の目に沿いて来る
白南風は 栞^{しおり} 紐揺らす不随意に

-----2011年07月10日(日)

【三河弁】

「おまんさあ」「でれえたりい」「どいでだん？」
「もんこわりいだらあ」「ちょお、ぐろよりん」
「ほやわざわざおいでるもんで」「からだがちっとえれえだ」
「だけなだけなは、うそだけな」

終わり。なんかもっと強烈なのがあった気がするけど、忘れたな。

もんこわるい＝「品質が悪い」、たりい＝「つまらない」、ぐろよりん＝「端に寄りな」の意味です。

生まれも育ちも三河です。(離れてだいぶ経ちますが親兄弟はまだいます。)三河アイデンティティはそうとう強いです。

ぐろよりん」夏の日影は狭すぎて

-----2011年07月12日(火)

今日飲んでるとき友人から聞いた、俺が昔彼に話した面白い話。
(しかも俺の実体験。

仕事で沖縄の宮古島へ行ったときのこと。仕事が終わって、帰りの飛行機までの2、3時間。折角来たのに観光してないのがもったいないので、朝市に行った。

T字路にあるその朝市をぶらぶらして、折角来たしなんか金を落としたいけど、その日に帰るし、でも売ってるのは青物生鮮肉魚ばかりで、ちょっと困っていた。

朝飯代わりになんか食べたら丁度いいのだけど、生ものか乾物しかなく、加工が必要なモノばかり。でしょうがないなあと、乾物を売る屋台のおばちゃんに話しかける。

「ごめんなあ、今日帰るさかいに豆とか味噌とか買われへんねん。朝ご飯代わりに今ここで食べれるもんあったら買うねんけど」

するとおばあは屋台の足下からビニール袋を取り出して言う。

「弁当あるよ」

そんなん売ってもたら、おばあ朝飯（or昼飯）がのうなってまうがな。遠慮すると、

おばちゃん、「そこのコンビニでさっき買ったやつ。美味しいよ。350円。買った値段そのままいいから」

ということで、揚げ物がぎっしり詰まったコンビニ弁当を、宮古島の最後の食事として食べましたとさ。おしまい。

今日の友人の話では、（俺が自信満々に喋った）コンビニネタがもういっこあって、

四国のおばあちゃんの家で、久しぶりに里帰りしたときのこと、」ゆうて、おばあちゃんが、久しぶりに来る孫に「ごちそう用意しとくから

孫が訪ねたおばあちゃんの食卓に並んでいたのは、わざわざ人に頼んで車に乗せて買って買いに行った、コンビニ弁当であった。

急須買って来た。

20年ほど使い続け、台湾・北京時代も持ち歩いて、ここ数年は注ぎ口は原形を失い、先月ついに蓋の三分の一が失われ、おとついかにつまみ（台湾時代に割れてボンドでくっつけてあった部位）が折れたので、観念した。

今の急須はどれも「茶葉を捨てるのが楽」が売りの、別網式なので、もひとつ買う気にならず、まして急須って気に入るデザインもないので（20年使ったものも、別に気に入っていたわけではない）、夏だししばらくは水出しで我慢かな、と思っていた。

そしたらさっき普通のスーパーで、耐熱ガラスの急須でほどよい大きさ（網と本体の容積差が小さい）のものがあり、失敗しても冷茶用に漬しが効くとして、買って来た。

量（300ml）が丁度いいのかどうか、ガラスだとお湯の温度調整をどうするのか、網なので抽出に変化があるのかどうか、

とか不確定要素はいくらかあったわけだけど、
とりあえず、2煎目はうまかった。

日本茶（3煎目）なう

取り立てて不満はない。

ガラスの急須を買うことに決めた理由は、もともと西尾のお茶は水色が鮮やかな緑なので、ずっと内側が白の湯飲みを使い、眺めながら飲んでいたのだが、去年からグレーのものに変えたため、急須で眺めることで代替しようと考えたから。

-----2011年07月13日(水)

ひとまずここ二週間不義理にしていた作業を1.5終了。

なかなか自分を思い通りにコントロールできないので、工程通り仕事が進まん。まあ昔に比べりゃ相当マシなわけだが。それでも2割くらいは取りこぼす。

極論すれば、自分が好きな作業を、自分の好きな風にしかやっ
てないからな。いいように言えば職人気質なわけだが。母親み
たいで嫌ね、まったく。

母親のエピソードを書こうかと一瞬思ったが、書くと腹立って
眠れなくなりそうなのでやめた。

-----2011年07月15日(金)

俳句は、不思議なことに鑑賞者≠実作者なのだけど、俳句と小
説の描写は密接に関わっているので、興味がない人も本来、そ
う邪険にはできないものなのだけどね。

東京在住です（台湾に住みたいんですけど、、、）。故郷なので西
尾茶以外は飲みません！

仕事モードになかなか入れない。壊習慣し、、、

あたりまえとされていることが、だれにとってもあたりまえで
あるとはかぎらないので、ちゃんと言っておくべきかな。

【告白】うちにはエアコンと電子レンジがありません。無論テ
レビもなくなりました。ていうかどれも要らん。

冷や麦準備。

-----2011年07月27日(水)

冷抹茶なう

古川日出男「馬たちよ、それでも光は無垢で」(新潮社)が出たそう。欲しい小説がもう5冊ほど溜まったので、ぼちぼち新刊書店へ買い出しに行かんといかんな。

アゴタ・クリストフ『悪童日記』は、実は生まれて初めて面白いと思った翻訳文学だった。

昔から海外文学はまったく受け付けなくて、子供の頃家にあった世界文学全集もはまった記憶はなく、トムソーヤの冒険を読んで以降、おそらく30年くらいまともに翻訳文学を読んだことはなかった。

昔は心が狭かった。

春樹訳の諸作品さえ買ってはいたがやっぱり読み続けられず(春樹は全部読めるのに、なんで??)、で、数年前思うところあって、ちゃんと読もうと思いついて、やや自分に強いる形で読み出した。

(台湾文学、中国文学は、基本原文でしか読みません。)

あ、まだまだ心が狭いな。

初めてまともに読み出した翻訳文学で、アゴタ・クリストフ「悪童日記」はなぜか普通にすいすい読め、さらにリチャード・ブローティガン「アメリカの鱒釣り」ではまった。未だに海外文学は得意でなく、読む7割は日本文学だけど、少なくとも翻訳ものに警戒心が無くなったのはアゴタ・クリストフ(と翻訳の堀茂樹)のおかげだな。感謝。

ちなみにうちの母親はジェーンエアと嵐が丘を読んでない俺を、小馬鹿にしている。

もっとも日本文学にしたって、幸田文を「ふみ」と読んで、母親に軽蔑の目を向けられたこともある。

日本文学、日本映画、日本のロックだけで思春期を過ごした人は、同世代にそんなに多くない。

-----2011年07月28日(木)

日本茶注文済み。いつものじいさんブレンド雁^{かりがね}が音8本と、抹

茶2缶。一万円くらいかな。抹茶は夏しか飲まないが、日本茶はこれでなんとか11月くらいまで、、、
そういえば、こないだ巢鴨のお茶屋さんが教えてくれたが、うちのじいさんが自慢していた、蓋を押し込まずのせるだけで、すうっと閉まる銅の茶筒は開化堂というところにしかない技らしい。B品で一万弱してたもんなあ、、、
じいさんが自慢していたところは、その茶筒も傷んでしまって、すうっとは閉まらなかった。銅だけどもう真っ黒だったしな。
しごととしごと

-----2011年08月03日(水)

【あしたのために(その1) 風景】 風景を見るべし。作句の突破口をひらくため、あるいは世界をそこにとめるため、その目で風景を見ること。このさい、シャッターを切る心構えで角度や焦点を変えて見るべし。事実としての風景を見た後の季語はその威力を三倍に増すものなり。

【あしたのために(その2) 季語】 風景で作句の突破口を見いだせば、すかさずイメージ(季語)を掴むべし。風景のある焦点に集中し、目標をぶち抜くように掴むこと。これ俳句の基本なり。このさい、余計なものを掴まぬよう、同じ線上を同じスピードでひきもどすこと。一発で俳句を生む必殺技なり。

【あしたのために(その3) 五七五】 すでにある形式の力を借りる 肉を切らせて骨を断つ、相打ちの必殺技。使い古された固定の韻、歴史に蓄積された五七五のリズムで俳句の威力は倍増する。まして切れ字とクロスさせた場合は、必然的にテコの作用を果たし、三倍、四倍の威力を生み出す。

日本茶なう

夜涼しいし、酒も抜いたし、レバーとか食ってるけど、それでも朝(午前中)はまだ背中から首がだるいすな。

花火は聞こえるが、平常心で仕事をするのである。

-----2011年08月06日(土)

珍しいくらいに集中力が早く始まり、ずっと続く。
これが経常的に、せめて週に3日でもあれば、城が建つんだが。
蔵か。
行水から仕事。

-----2011年08月11日(木)

夏過ぎて脇腹に溜まりし疲れかな
指先の疲れは背なへ夏終わる
役務継ぐブドウの甘さを頼りとし
いたずらにブドウをつまみ日は終える
仕事1ブドウ2房の歩合かな
冷や麦とブドウを頼りに夏を終え
なっつい
夏潰え役務はなおも続きおり

-----2011年08月22日(月)

台湾と香港は意外と仲良くないからなあ（一般感情）。
昔旅の道連れで、広東人、上海人、台湾人のビジネスマンとそれぞれだらだら喋ったことがあるが、全員が「俺たちはあいつらと違う。金儲けだけじゃない。だからあいつらは気が合うんだ。」って言って面白かった。

北京から台湾に戻るのに（当時直行航空便はなかった）、香港経由で帰ったが、北京から電話で香港のホテルを予約しようとしたら、名前だけで部屋が取れて拍子抜けし、現金は宿泊当日地下鉄の改札を介してクーポンと引き替えで、終了。香港らしい「疑う時間ももたない」超スピーディーな取引。
台湾では友人に飛行場（当時は桃園のみ）送ってよ、と頼むと「勿の論」だけど、約束の時間に電話すると「今起きた、すぐ車出す」、となるのが順当。ところが北京で同様のことを大家に頼んだら、朝5時出発の5分前にドアがノックされ、「出発するぞ」と言われて、度肝抜かれた。

この手のエピソードならなんぼでもあるな。（そらそやろ。何

年住んでたんや。)

台湾だと同じ飯屋に3日続けていけば、「留学生か?」「何人だ?」「彼女いるか」くらいの会話が店のおばちゃんとなされるのだが、北京で通っていた餃子屋は3日をあけず通ったのに、「何してる人?」と世間話をしたのは、年越しの後だった。2003年の北京はまだ田舎でした。大きいし人も車も多かったですが、浮ついた感じはありませんでした。北京人は実直で贅沢はしません。前日の水餃子の残りを練炭で焼いて朝ご飯にしてみました。それ以来行ってないので、今どうなってんでしょ、う、、、

ほろよいぶどうなう

高倉健さん6年ぶり映画主演 降旗監督「あなたへ」公開は12年秋の予定。

80歳。

高倉健は渥美清より3つ下なんだ。

ほろよいももなう

-----2011年08月23日(火)

祖母や祖父やおじやおばの俳句や文章は普通に読めるけど、父親のはぞっとすんなw

まあ親族仲良うやってるようでよろしけど。

冷菓又ナタデココゼリー葡萄入り うた子

おばあさん、元気そうで結構。

いや、俳句なら父親のでも、平気かしらん。さっき文章と名前見たときはびっくりして汗噴き出したけど。

葉桜の覆い被さる小道行く 真平

かんしやく
癩 癩も育っておりぬ吾子の夏 直子

これはいとこ。

投句するのはいいけど、おとつあん名前変えてくれんかやあ?

この夏一番ぞっとした。

-----2011年08月27日(土)

秋めくや松田聖子の風2曲

角張れる東京の稜線に虫響く
直線が織りなす空白む虫の声
その先は湾があるはず虫の声
と、古川日出男に捧げておく。

本読むより、俳句作ってるほうが面白いわけだ。
仙太郎のおはぎ食おう。

コーヒーをいれようと台所行って湯を沸かしているあいだに冷蔵庫と流しをささと片付けていたら、梨があったので、梨を食べた。

-----2011年09月09日(金)

冷ややかなざらつきを手に梨を剥け^む
冷ややかな重みを持てり梨と呼べ

夏前に命令形俳句を発見してから、ちょいちょい好きなのである。

疲れた。いや俳句はなんぼ作っても一向に疲れないんだけどね。
疲れたので仕事する。

-----2011年09月10日(土)

また梨買ってきちゃった
レバーを生姜で煮る。

三河ならタダ同然なり梨を買う
はをたててしづきをあげて梨かぶる

-----2011年09月11日(日)

首から背中がちょっとしんどい感じ。少しあるいて、茶店で仕事する。

でかけう。北へ行くか南へ行くか。さて。

平安を試すようにある月ひとつ
しらふでは吸い込まれるや今日の月
音などは発するまじく月を見る
雑念も怨念もあり月を見る
雑念と月を肴に酒を飲む

日本文學家夏目漱石曾寫過,英文的「I love you」就是相當於日文的「月亮好漂亮」,代表說,日本人與日文感情表達如此含蓄婉轉.

月がキレイですね、の話は、外人向けのいいネタやなあ。
あと平安時代の貴族は恋するとき顔がわからないので（いきなり夜這い）、事前の手紙（和歌）のやりとりで、内容以上に紙や香りでその人と柄を判断する、っていうのも（長いけど）、外人向けのわかりやすい日本人ネタ。

ジェット機の音に誘われ二度目月

平安貴族の話は、北京某大学の文学部で話したら、わりと受けた。

-----2011年09月12日(月)

レバーの味加減が丁度いい感じ。味が薄かったので、保存時も煮汁を捨てず浸けたままだった。白いご飯で食べよう。

染め上げた薄青で朝顔の咲く

ひょうたん
瓢箪は増えねど大きくなりぬかな
一日の濁きに見合う梨ひとつ

向かい風立待月の遅れかな

立ち待ちてちょっとお腹がすきました

-----2011年09月14日(水)

6日間ほど、珍しく仕事に集中してました。これが10ヶ月く

らい続けられれば天下が取れるのだが、天下が取れたことは未だかつて無い。

自分で揚げた手羽、美味かった。しかも昨日の鶏皮炒めで鍋に残った油である。ムダガナイネ。

今日だけは法被^{はつび}の威勢タンカ切る
秋祭今日は東京を許すなる
町法被肩へ貫く折り目かな
法被は秋の季語にしますw

お囃子^{はやし}はあくまでも生三業地^{さんぎょうち}
お囃子はチビたちの腕の見せどころ

まあこの時期に祭やってる時点で、けっこう東京だな、と思うわけだけど。

うちの在所（西尾市中畑町）の祭は10月下旬で、馬が走った。

薔薇よりも朝顔の品位青になる

前髪を揃えて女御輿^{みこし}かな
タリーズとマクドの間御輿過ぐ
いきり立つ御輿を抑ふ背中かな

-----2011年09月19日(月)

そういやお気に入りの「寺津老人会」のタオルを落としちゃったな。くそ。

秋に入り空の容積を知りぬかな
エビス黒なう
残暑なりそれぞれの解釈服を着る

-----2011年09月20日(火)

【速報】 いりごま（白）200gを使い切った。

亡くなった杉浦直樹は恐らく唯一の岡崎市出身俳優だったので、「純情きらり」になぜ出演してまともな三河弁を披露してくれなかったのかとずっと残念に思っていた。もう忘れてたろうけどな。

リアルな三河弁がテレビで流れることなど（ローカルですら）ほぼ無いわけだが、今調べてて平泉成が額田出身だと思い出して、今後に期待。

平泉成と三河弁、、似合わねええ、、、。（杉浦直樹はもっと似合わないが、、、）

やっぱり三河弁が一番似合うのは中嶋悟だな。

-----2011年09月23日(金)

【速報】 いりごま（白）200gを2袋買って来た。恐らく半年分。

ちなみにごまは砂糖と一緒に（ひとつまみずつ手のひらの乗せて）食べると、香ばしくて美味しい。北京で食ったおやつ餅を思い出す。

-----2011年09月24日(土)

ご存じ?のように好みの俳句はくあくまで写生、無季語可、五七五はともかくリズム重視。ていうか風景を見せよ>なので。俳誌読みだけど、漢字がびっくりするくらい読めんな。同人さんの俳句をいくつか

田植とて手植は四隅だけのこと 智恵子

手のひらに触れて重たき西瓜すいかかな 芙美代

水打って夕刊少し待ちにけり 多恵子

通りすぐ貨物列車の涼しけり 健吾

キャベツひとたま食い終わった。10日かかったが、さすがに飽きた。

ていうか俺はキャベツの千切りがヘタだな。

キャベツは一枚一枚剥いて千切りするならいいけど、玉のまま断面を刻んでいくのは、ストロークが必要で、難しい。日本茶も紅茶もコーヒーも抹茶もカルピスも飽きた。

-----2011年09月28日(水)

日本茶なう

やっぱり小説が一番自由だな。形式的にも、資本主義的にも。次は音楽か。出版社にもレコード会社にもいろいろ問題があるのだろうけど、映画なんてどちらもガチガチやからなあ。映画はだからこそある（群衆と欲望の）サンプルになるのだが、自由＝個人でコストが担える、という意味ではどないもならん。高源の「さよなら、ニッポン」（未読）をばらっと見ての感想w

-----2011年09月30日(金)

朝から親子丼。

野菜がなかったので（ネギがあると思ってたが）味が単調。月末（月初）なのでおとろしい数字（確定値、予想値）が出たりする。球数が多いタイプ（比喩）にしても、限度がある。谷口タカオ（プレイボール）の末路を思い出してしまった。俺はどっちかっていうとこつこつ努力タイプでなく、センスで手っ取り早くタイプなんだけどね。あふれるセンス、途切れる収入。

日本茶なう

だいぶさぼったので仕事。

-----2011年10月01日(土)

清秋やカーテンを開けよ味噌汁を飲め

白い飯と梅干しと卵かけご飯（2杯目）と豆腐油揚げ豆もやしの味噌汁が美味かった。

秋夜長卵を焼いて食う始末

いや俳句は恥ずかしくないんですわ。内面がないからね。だから無限にできる。

-----2011年10月07日(金)

歌は内面以外のなにものでもない。

-----2011年10月08日(土)

日本茶なう

あと少し仕事やって先に寝るけどな。

まあそれにしても終わらん。

どう考えても、なにひとつ間違ったことはしていないのだが、時間だけ足らん。

まともなことしてたら儲からんってことか。

-----2011年10月16日(日)

以下次号



俳句を送りましょう

投句方法

自分の句が掲載された俳句小冊子『言葉は魔法』を楽しんでください。

次ページの投句用紙に5句を、楷書で丁寧にお書きください。5句以上投句希望の方は裏ページの投句用紙に記入の上、投句してください。添削結果はこの小冊子『言葉は魔法』「俳句ノート」と「添削・句評」欄に発表します。

締切は毎月20日とします。

『言葉は魔法』編集部より

俳句小冊子『言葉は魔法』を編集する私は、何の実績も知識も経験ありません。18歳から25歳までの俳句少年だった頃の夢が、空白の五十年が過ぎた今俳句に対する思いが、膨らんできました。ここにスマートフォンを手掛かりに、無謀と思いつつ発行します。

この小冊子で一緒に俳句を勉強できればと思っています。

添削希望の方は、俳句5句以上10句までを、郵送かFAX かメールで送ってください。添削したみなさんの俳句を発表する場として、小冊子『言葉は魔法』を発行します。

俳句小冊子『言葉は魔法』は税・送料込で1,000円です。

詳しくは本誌裏表紙をご覧ください。

選句、添削は、『言葉は魔法』編集部 天野真次

『郵送』の方は

〒444 - 0053 愛知県岡崎市板屋町190-5

ribbonbooks リボンブックス

『言葉は魔法』編集部 天野真次 宛

『メール』の方は hana-ribon@triton.ocn.ne.jp 宛

『FAX』の方は FAX番号 0564 - 24 - 5825 まで

5句用

〒 () ー () 電話 () ー () ー () 歳

住所

氏名

希望俳号 () () 年令 () () 歳

あなたの入選句・添削・句評は『言葉は魔法』四月号に掲載予定です。

() きりとり線 ()

10句用

句集

紹介

『村松うた子第三句集』

若く見える九十八歳や五月晴れ』

村松うた子は、翻訳家天野健太郎の祖母。九十八歳でなくなるまで現役俳人。息子村松五灰子の主宰する俳句雑誌『茅花』所属。俳句初心者にとって読みやすわかりやすい句集です。

本誌編集部、Amazonで販売中 13098円(税込)

Grid for writing 10 sentences, consisting of 5 columns and 10 rows of empty boxes.

お試し投句用紙

〒() 一 () 電話() 一 () 一 ()

住所() ()

氏名() (希望掲載名) () (年齢) (歳)

お試し初回 2回目 3回目 ※〇印をお願いします

2句以上5句までを、楷書で丁寧にお書きください。

() ぎりぎり線 ()

無料添削投句の宛先

『郵送』の方は

〒444 - 0053

愛知県岡崎市板屋町190-5

リボンブックス

『言葉は魔法』 天野真次 宛

『メール』の方は hana-ribbon@triton.ocn.ne.jp 宛

『FAX』の方は FAX番号 0564 - 24 - 5825 まで

添削ご希望の方は、住所・氏名・本誌掲載時の希望併号またはペンネーム・年令をご記入の上、2句以上5句までを、楷書で丁寧に書いてお送りください。

締切は毎月20日です。

あなたの俳句は『言葉は魔法』の「添削・句評欄」に掲載し、その号を郵送します。三か月間（3回分）無料でお試しください。

俳句小冊子『言葉は魔法』
俳句会員募集中

- ・俳句添削会員・1か月1,000円（俳句添削希望の方）
 - ・購読応援会員・2か月1,000円（読者になって応援）
 - ・宣伝応援会員・（無料、宣伝用『言葉は魔法』を送ります）
- お問い合わせ、お申し込みは下記 **発行所** まで
（上記金額は、税込・送料込です）

お試し添削三か月間（3回分）無料始めます

- ・毎月20日締切。三か月間（3回分）無料
- ・ご自分で作った2句以上5句までを思い切って送りましょう。
- ・お試し作者名は、本名、俳号、ペンネームでもOKです。
- ・添削結果は締切にあわせて『言葉は魔法』に掲載し、その号をお送りします。お問い合わせ、お申し込みは下記へ

発行所 TEL 0564 - 24 - 7125 天野

俳句小冊子『言葉は魔法』

発行所

〒444 - 0053

愛知県岡崎市板屋町190-5

ribbonbooks リボンブックス

『言葉は魔法』編集部 天野真次

TEL 0564 - 24 - 7125

FAX 0564 - 24 - 5825

Eメール hana-ribon@triton.ocn.ne.jp

振込先

郵便振替 ゆうちょ銀行

アマノシンジ

〔店名〕二一八〔店番〕218

〔普通預金口座番号〕8785584

（JTBギフト券可）

『言葉は魔法』はRICOHレーザーhorizon製本機の手づくりです。
糊反対面カット製本、上下端はカット無しです。了解ください。

どんな俳句をめざすのか

分かりやすい言葉で

見たまま、感じたままを

5・7・5のリズムを大切に

ribbonbooksリボンブックス
小冊子『言葉は魔法』

